

対象年度	令和 8年度							総合計画実施計画策定及び行政評価シート			
事務事業名	消防団活動事業						予算事業名	消防団活動経費			
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	消防組織法、消防法			
			09	01	02	0502	経常経費				
総合計画体系	住みたい・住み続けたい 安全・快適な都市を目指そう 安全に暮らせるまちづくり 消防体制の強化						事業の区分	主要事業			
								担当課係等	重点事業 防災安全課 消防防災係		
事業期間	継続 (平成27年度～ 年度)										
【めざす姿 (意図・どのような状態になるのか)】						【事業開始のきっかけや他市の状況など】					
消防団活動に要する装備品などを充実させることにより、消防団の処遇・活動環境の改善を図る。また、消防団員数の減少や会社員の団員が増加傾向にあるため、平日日中に出動可能な団員を確保し、本市の防災体制を強化する。						消防団に配備している5t級ポンプ自動車は、道交法改正後の普通自動車免許では運転ができない。他市においても免許の補助制度を創設している。令和4年度から消防団報酬は個人支給とすることから分団運営費用が必要となっている。					
【手段 (事業内容・どのようなことを行うのか)】						【対象 (だれに対して・何に対して行うのか)】					
消防団活動に関する装備品の充実、費用弁償、各種報償制度の実施、関連団体への負担金の支払や火災時における重機借上料。報酬の個人支給化による分団運営必要品の購入、新運転免許制度に対応するための準中型運転免許取得補助。消防団アプリの導入。						結城市消防団員					
						【事業をとりまく環境の変化】 消防団員の現場での安全を確保するため、コミュニティー無線の個人への配備や、消防団アプリを導入し、意思疎通や情報共有を図る必要がある。					
【令和 8年度 事業内容】				【令和 9年度 事業内容】				【令和10年度 事業内容】			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 装備品の購入 ・ 準中型運転免許取得補助 ・ 車両、備品等の管理 ・ コミュニティー無線機の増強 ・ 消防団アプリの導入・運用 				<ul style="list-style-type: none"> ・ 装備品の購入 ・ 準中型運転免許取得補助 ・ 車両、備品等の管理 ・ コミュニティー無線機の増強 ・ 消防団アプリの運用 				<ul style="list-style-type: none"> ・ 装備品の購入 ・ 準中型運転免許取得補助 ・ 車両、備品等の管理 ・ コミュニティー無線機の増強 ・ 消防団アプリの運用 			

■ 事業費

		R06年度	R07年度		
財源内訳	国庫支出金	0	0		
	県支出金	0	0		
	地方債	0	0		
	その他	0	0		
	一般財源	17,063	20,064		
歳入計 (千円)		17,063	20,064		
歳出内訳	節 (番号 + 名称)	金額 (千円)	金額 (千円)		
	07 報償費	454	458		
	08 旅費	22	253		
	09 交際費	62	100		
	10 需用費	7,632	7,967		
	11 役務費	339	1,020		
	12 委託料	0	66		
	13 使用料及び賃借料	159	39		
	18 負担金補助及び交付金	8,103	9,899		
	26 公課費	292	262		
	歳出計 (千円) (A)		17,063	20,064	
伸び率 (%)			17.58		
備考					

令和 6年度行政評価シート

■指標

種類	指標名	単位		R06年度	R07年度	R08年度
活動 指標	消防団入団数	人	目標	50.00	50.00	50.00
	消防団に新規入団した人数		実績	39.00	0.00	0.00
	被用者数	人	目標	150.00	150.00	150.00
	消防団に所属する被用者数		実績	159.00	0.00	0.00
成果 指標	消防団員数	人	目標	300.00	300.00	300.00
	結城市消防団本部、第1から10分団、女性消防団の団員総数		実績	228.00	0.00	0.00
	装備及び安全対策講習会	回	目標	3.00	4.00	4.00
	消防団活動に必要な装備及び安全対策の講習会実施数		実績	2.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	消防団活動に要する装備品などを充実させることにより、消防団の活動環境の改善を図る必要がある
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	市に消防団の設置義務があるため妥当である。
	手段の妥当性	A 妥当である	消防団の活動環境の改善を図るためには装備品の充実が不可欠であるため、妥当である。
効率性	コストの効率性・人員効率	B どちらとも言えない	消防団活動における装備品の必要性を精査し、市からの支給、貸与品と消防団独自の装備品の区別をする必要がある。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	消防団全員を対象としているため偏りはない。
有効性	成果向上の余地	A 上がっている	新基準の装備品の配備、ポンプ車を運転するために必要な免許取得にかかる補助は消防団活動において有効性が高い。 現場での安全管理、報告事務等の簡略化に、コミュニティ無線の増強・防災アプリの導入
進捗度	事業の進捗	A 順調である	消防団活動に必要な装備品の配備、更新を順次行なっている。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
新基準の装備の配備は行なっているが、更新を行なっていない。そのため、どのようにして更新するかなどを検討、実施しなければならない。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
新基準の装備の配備は行なっているが、更新を行なっていない。そのため、どのようにして更新するかなどを検討、実施しなければならない。			

■方向性

<p>1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））</p> <p><input type="checkbox"/> 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） <input checked="" type="checkbox"/> 改善改革しながら継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続（改善・改革なし） <input type="checkbox"/> 統合・新規事業への展開</p> <p><input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 予定どおりの要求 <input type="checkbox"/> 一部改善の上要求 <input type="checkbox"/> 今回は見送り <input type="checkbox"/> その他の処置</p> <p>方向性の具体的内容 消防団活動に必要な装備品は、適切な配備を行っていく。</p>
<p>2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））</p> <p><input type="checkbox"/> 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） <input type="checkbox"/> 改善改革しながら継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続（改善・改革なし） <input type="checkbox"/> 統合・新規事業への展開</p> <p><input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 予定どおりの要求 <input type="checkbox"/> 一部改善の上要求 <input type="checkbox"/> 今回は見送り <input type="checkbox"/> その他の処置</p> <p>企画調整会議の意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり</p>
<p>管理課連絡欄</p>